

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



双方向の情報交流

町田市議会

所属: 志政クラブ

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

「鬼太郎に会えるまち」について

鳥取県境港市の「鬼太郎に会えるまち」を総務常任委員会で視察し、境港市の観光施策の考え方や成果に敬服しました。

街の通りは「水木しげるロード」と名付けられていました。その通りには水木氏の作品である墓場の鬼太郎をはじめとする妖怪のブロンズ像が立ち並んでいました。もっとも、そうは言っても、その像が手のひらサイズという言葉にふさわしく、意外と細かな像や壁掛け板(レリーフ)が並んでいました。ブロンズ像(彫刻と台座で構成されている)は全部で153体にもなるとのことでした。公共事業で始めたものを、その後一般募集を行い、企業や個人を相手に寄付を募ったところ多数の応募者があり、次々と妖怪オブジェが設置され、今日の盛況になったとのことでした。

通りを歩くと、それらを触ったり、一緒に記念写真を撮りたい気分になってきます。担当の方の説明によれば、子どもさんの背丈と一緒にブロンズ像と写真が撮れることが特徴でした。その通りの店々に関して、旧来は一般の業種であったものが妖怪グッズの販売を兼ねる店舗が増加していたとのこと、それは店舗の名称にも見られました。今日では、門前町の観光店舗が並んだ通りの感じであり、例の下駄を専門的に扱っている店もあり、そのすそ野の大きさを感じました。

米子から境港に至るJR境港線は、全線で駅名が旧来の駅名を小さく表示し、妖怪名の駅名に全部が変えられていました。一駅だけ見ると滑稽にも感じますが、全駅が妖怪名であることで、外来者が到着した瞬間から異次元世界に来たことを感じさせるものでした。



(JR 境港線は、全列車が鬼太郎キャラクター)

果たして、町田市で別のキャラクターによる事業が可能かという、瞬時に無理と言えましょう。それは、漫画家の水木しげる氏はその故郷をこよなく愛していること、そのキャラクターの著作権を有する水木プロダクションと境港市やその地域が友好関係を長く続けていること、何より、住民が郷里の出身漫画家を敬愛していることもあるでしょう。

町田市は多数の作家、芸術家、音楽家、漫画家にゆかりがあります。ただし、これらの人々を市民がそこまで敬愛しているかと言うと、残念ながらそうとは言いがたいと思っています。私が推奨したい人物に、世界的に有名なキャラクターであるポケモン作家の田尻智氏があります。その田尻智さんは幼少期から青年期まで町田市の団地に居住し、そこでその才能を開花させたにもかかわらず、行政を含めて、その偉業を誇りにしたとする状況が町田市内には皆無です。

思うに、田尻智氏の偉業に関して、今後、教育施設や機関で、まず、その評価を広げる実践が優先されるべきだと痛感しています。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (市議会議員)

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



インタビュー生募集中



携帯QRコード
でブログ閲覧

インターン体験記(第31期)

中央区京橋にあるアイ・エム・ユーという会社へお邪魔してきました。代表取締役の岡田さんとお話をさせていただきました。ユニバーサルデザインに沿って作られた服をテレビの通信販売を通して販売しているらしいです。ユニバーサルデザインとは、年齢や性別などに関わらず、どの人でも楽しんで着ることのできる服のことです。ただ、テレビでの通信販売の性質上、主な客層はやはり30~50代の女性になってしまう、ということで、少し残念でした。ユニバーサルファッションという理念がより多くの人に知ってもらえたら、新しい形の服がもっと当たり前になるのではないかと思います。

(以下、吉田注) 繊維・ファッション業界の大半は不振が続いてきましたが、そうした中で、元気がある企業を訪問しました。社長の岡田たけ志氏は、現在、私も参加するユニバーサルファッション協会の理事長です。



林 泉(いずみ)さん(第31期研修生 東京大学教養学部・現在2年生)1年の春休み時期の研修をレポートしたものです。

「都市における災害対策と議会の役割」の講演を聞く

「都市における災害対策と議会の役割」というタイトルで、法政大学教授 廣瀬 克哉先生の講演を聴きました。廣瀬先生は、議会に関する著作も多く、非常に興味深い話でした。しかし、講演内容が、先生の研究対象であった津波被害を中心としたものであり、陸部にある町田市の自然災害のレベルではその対策を推し量ることがなかなか困難でした。

関心を持って接した話は、災害時でも議会が決定機能をこなしていく機能が語られました。特に、市長の専決処分と議会決定との関係を見直し、災害時にも議会の役割をより前向きにするべきだとの内容でした。

一般に、災害時は自治体議員が独断で行動し、行政の業務や執行を混乱させると言われていますが、それは行政の主張をうのみにしたメディアの報道に基づいたものが大半でした。実際に、私が何度も訪問した被災地で見聞したところ、議員の役割は重要でした。

それは、地方議員と言うものが町内会や自治会とかの狭いエリアでなく、より広範囲に日頃からテリトリー的に行動しており、しかも、幅広い階層の人々に接しているためです。例えば、都心が仕事先で行政とは日ごろ縁が無い人や、完全な個人事業者でこれまた、周辺にはまったく知られていない人とも等しく自治体議員は交流をすることで情報収集の糧としています。その議員が個別に得た情報を、いち早く災害対策に生かせる機能を議会が行政とは相対的に独立して持つことが重要だと考えています。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp